2024 年度事業計画

１．植物性たん白の消費の増進、普及啓発に関する事業（調査、資料収集、展示会）

（１）パンフレット等の作成・更新

協会レシピ集の内容を見直し、新たなものを発刊する。

（２）試供品等の配布

植物性たん白のパンフレット、試供品、レシピ集等の配布を行う。

（３）広報

植物性たん白に関して、以下の広報活動を行う。

①協会ホームページに掲載している植物性たん白の生産出荷統計、JAS 格付検査依頼実績及び輸入実績のデータを適宜更新する。

②協会ホームページの内容を随時見直す。

③食品業界紙等に協会の広告を掲載する。(夏季・新年等)

④正副会長会議及び第 1 回理事会・通常総会合同会議終了後に記者会見を実施する。

（４）外部主催の事業・催し等への参画

以下の機関・団体等が主催する事業・催しに積極的に参画する。

①行政機関

・農林水産祭

②研究機関・学会

・日本スポーツ栄養学会第 10 回大会（24.9.21～22 女子栄養大学 坂戸キャンパス）

③関係業界・団体

・(公社) 全国学校栄養士協議会第 51 回定時総会（24.6.7 国立オリンピック記念青少年総合センター)

④マスコミ等

・ifia JAPAN 2024（24.5.22～24　東京ビッグサイト）(プレゼン)

・インフォーママーケッツ ジャパン㈱主催の食品開発展 2024（24.10.4～6、東京ビッグサイト）(出展)　等

２．植物性たん白食品の規格及び技術に関する事業（調査、資料収集）

（１）JAS

植物性たん白 JAS、関連法令等の制定、改正、運用等に関して、以下の活動を行う。

①植物性たん白 JAS の植物たん白質含有率の試験方法について、改正への手続きを確実に進める。

②（一財）日本穀物検定協会主催の JAS 品質管理責任者講習会に出席し、植物性たん白の講義を行う。

③JAS 連絡協議会に出席する。

④JAS 公平性委員会に公平性委員（業界団体）として出席する。

（２）技術の開発・改善

①技術部会において、技術研修会を実施する。

②食品開発展 2024 に出展する。

３．植物性たん白食品の内外の情報収集及び調査研究に関する事業（調査、資料収集）

（１）情報収集

引き続き、以下の関連情報の収集に努める。

①行政機関

・各種説明会（法令・制度・事業、国際関係等）

②研究機関・学会

・（公財）不二たん白質研究振興財団の講演会　等

③関係業界・団体

・（一財）食品産業センターの企業・団体連絡協議会

・（一社）日本農林規格協会の特別セミナー

・米国及びカナダ大豆関係の連絡会議・セミナー　等

（２）調査研究

植物性たん白の加工・利用、普及啓発等に関する研究として、植物性たん白を材料とするレシピ集を編集する。

（３）現地研究会

運営委員会において、植物性たん白の加工・利用等に関する現地研究会を実施する。

４．セミナーの開催（研修、セミナー）

植物性たん白に関連する技術セミナーを開催する。

５．その他

（１）協会運営

関係法令、定款等に則り、以下の内部会議等を円滑かつ的確に開催・実施する。

○監事監査

○運営委員会

○理事会、総会

○技術部会

○50 周年準備会合

（２）その他

会員及び賛助会員に対して、適時に有用な情報を提供する。